

# 「元気いっぱい・笑顔いっぱい」

特別支援教育統括コーディネーター 加賀谷 勝

## 「保護者応援ガイド」が完成

「子どもを可愛いと思えない」、「厳しく育てられた親と、今同じことをしている自分が嫌」、「子どもとスキンシップがとれない」、「病院でお子さんは今日からこっちの世界ですと言われても納得できない」、「このままだと子どもに手を出してしまう」、「就学先の情報を詳しく知りたい」など、子育てに悩む保護者の言葉を聞いてきました。ある調査では、育児に悩みを感じている保護者が7割を超え、子育てを孤育てと表現する人もいます。

「保護者応援ガイド」は、悩みを抱える保護者が、少しでも気持ちが楽になったり、誰かに相談したい気持ちになったりするための入口です。たくさんの保護者に読んでもらい、子どもと一緒に笑顔になってほしいと願っています。

### ～「保護者応援ガイド」より～



#### 1 子どもへの関わり方

どんな親も、子どものそばにずっといることはできません。しかし、大人に大切にされてきた子どもは、やがて同じように、自分自身を大切にできるようになります。そうやってたくさんの大人の思いが、ちゃんと子どもの中に残っていくから、今日も子どもに「あなたが大切だよ」と伝えましょう。

#### 2 子どもの見方を変えよう

「当たり前」は最大の敵です。子どものできないところに注目してイライラするよりも、子どものよいところや、今できているところを見つけて、分かるように言葉で伝えると、子どもの中に「できた」がたくさん積み重なります。

#### 3 子どもに伝えるほめ方

ほめることは、相手を肯定的に見る、あなたに関心があるというメッセージを伝える行為、喜ぶ相手を見てまたほめたくなります。ほめられると、無条件にうれしい、またほめられたい気持ちになる、相手に好意を抱くことになります。ほめる・ほめられるは、良好な人間関係を構築することにつながります。

#### 4 子どもに伝える叱り方

子どもは叱られることが多くなると、「私はダメな子どもなんだ」「どうせ私なんか何もできないんだ」と、自信をなくします。注意を引くために、わざと問題行動を起こすこともあります。叱らない親になるのではなく、叱っても大丈夫な親子関係を築くことが大事です。キーワードは、「ほめるときは感情的に、叱るときは本気に」です。

#### 5 子どもに伝える言葉かけ

伝える言葉とは、子どもの心に届く言葉です。普段から子どもが何を考えているのか、何を求めているのかを想像しましょう。言葉には温度があります。温かい言葉は心を和やかにし、勇気づけてくれます。冷たい言葉は心を傷付け、絶望的にさせてしまうこともあります。たった一言が人生を変える力をもっていることを認識して温かい言葉を笑顔で伝えましょう。

#### 6 子どもの捉え方

アタッチメント（愛着）の直訳は「くっつくこと」です。子どもは、辛いことや悲しい

ことがあったとき、大人にくっつけてもらい、安心感を得ます。子どもはスキンシップによって、「私は認められている、守られている」ということを実感しながら、大人から離れていきます。

#### 7 子どもの望ましい行動を増やす

全ての行動に、理由や意味があります。子どもは問題行動で語ります。分からないことがあったら、よく子どもを見てください。子どもが答えをもっています。子どもの気持ちに目を向け、理由を探ると答えが見付かります。子どもが駄々をこねたり、癇癢を起こしたりしたときは、泣きたければ泣きなさいという気持ちで見守る対応（無反応）と、「叱らないけど、譲らない態度」が大切です。子どもが望ましい行動を身に付けるためには、「肯定する・共感する・ほめる」ことが一番の早道です。



#### 8 子どもが怒りを鎮める方法

出来事は変えられませんが、考え方はコントロールできます。考え方が変われば感情も変えられます。怒りの感情を内に押し込めなくて、自分に合った方法で外に吐き出すことが大切です。

#### 9 子どもの心をくすぐる裏技

人は教えられたことはすぐ忘れるが、自分で気付いたことはなかなか忘れません。気付きとやる気はコインの表裏のような関係です。自分で気付くからやる気になります。これこそ学びのスタートです。知識を与えるよりも、やる気にさせることが大切です。子どもの前で旗を振りながら、子どもの心をくすぐる工夫をしましょう。

#### 10 子どものために家庭でできること

子どもを「できない」存在として保護し続けると、子どもの自立を妨げます。親が「保護者」でいる限り、親から愛されるためには、子どもは「できない」存在でいるしかないからです。子どもの成長に合わせて、親も対応の仕方を変えていきましょう。

いい子だから可愛がる、言うことを聞くから優しくするのではありません。  
可愛がるから、言うことを聞いてやるから、いい子に育つのです。

「保護者応援ガイド」について、「保護者に配付していいですか」、「保護者面談で渡していいですか」、「PTAでガイドの内容を話してもらえますか」などの問合せがありました。全て園や学校にお任せします。なお、能代市教育委員会HP上でも紹介していますので、ご自由に活用してください。



**とれたて直送便**



#### 「生きた言葉」

5歳児クラスでひまわりの種まきをしました。プランターに小石や土を入れたり、じょうろで水やりをしたりするなどたくさんの作業工程がありましたが、活動前に手順を確認したこと、二人でバケツを運ぶなど協力する場面を設定したこと、種を植える深さが分かるように赤い印を付けた割り箸を活用したことなど、子どもたちができる工夫がされていました。

一番印象に残っているのは、子どもたちが素手でプランターの土を触ったとき、うれしそうな表情で、「温かいよ、冷たいよ、柔らかい感じがする」などの言葉が飛び出したときです。絵カードで「温かい」という言葉を覚えるよりも、友達と一緒に種をまいたとき、「プランターの土は温かいけど、掘っていくと冷たくなっていくんだなあ」など、体験して身に付けた言葉には背景があります。それが「生きた言葉」です。